●基本情報

哥	業名(取組名)	家庭教育セミナー事	業				評価番号	3-3-8-1 (1)
	担当課	生涯学習課【文化セン ター】	係	庶務係			□ 予算なし	
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続ける	まちづくり	_	会計	【01】一般会計	
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	智環境の整	整備	予算	款	【0109】教育費	
基本	施策	【8】地域の特性を活か	した生涯	学習事業の推進	科目	項	【010904】社会	教育費
計画		①生涯学習推進事業の充	実]	目	【01090402】文	化センター費
	主な取組					事業	A	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	□ 事業開始年度不明				
事業期間	○ 期間限定あり (事業終 ⁻	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返	☑ ○ 単年度のみ				
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等						
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理 事務局	i)				
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ))他()				
事業概要	子供の健やかな成長を へ学習機会及び交流の場		の向上を目的に,子育てセミ	ミナー等を開催し,保護者				

●実施 ~D0~

事業 業績 学習活動により家庭教育の重要性を学ぶとともに、保護者同士の交流を深め、子育てに関する情報交換を行いました。

新型コロナの影響により、セミナーの開催は4回となり、参加人数は延べ13人です。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	166,000 円	20,000 円	26,000 円
			Ħ	Ħ	Ħ
支出	内		H	円	円
	訳		Ħ	H	Ħ
			Ħ	H	Ħ
			H	円	H
		事業費 計	166,000 円	20,000 円	26,000 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	Ħ	円	円
		県支出金	Ħ	H	円
財	内	受益者負担金	Ħ	Ħ	円
源	訳	地方債	Ħ	円	円
		その他	Ħ	円	Ħ
		一般財源	166,000 円	20,000 円	26,000 円
		事業費 計	166,000 円	20,000 円	26,000 円

		•	う 貢献している
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達 成に貢献していますか。	理由	子どもの健やかな成長を支える家庭教育力の向上に貢献しています。
1	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	○ 見直す余地がある 家庭教育力の向上を目的とするため、町の関与は妥当です。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	○ 余地がない ○ 見直す余地がある 保護者の学習機会及び交流の場を提供するため、常にニーズ や実情を考慮し、参加しやすいセミナーを開催しています。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	可能性がある家庭での教育力の向上を目的としています。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない類似事業は無く、連携による成果は、期待できません。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由)余地がない 全て報償費で講師謝礼です。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	_	適正である

	継続	() 現物	犬維持	縮小	○ 改善	○ 拡大)(休止	○ 廃止(終了)	() 統廃合	○連携
	【理由】									
今			成長と	保護者が	子育てを	通じて自ら	の人生を豊	かにしていくたと	めの学習機会	€の場を提供して
後の	行きます	0								
方										
向										
性										

●基本情報

事業名(取組名) 成人式典事業							評価番号	3-3-8-1 (2)
担当課 生涯学習課【文化セン 係 庶務係					□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続ける	まちづくり	_	会計	【01】一般会計	
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	智環境の	警備	予算	款	【0109】教育費	
基本	施策	【8】地域の特性を活か	した生涯	学習事業の推進	 科 目	項	【010904】社会	教育費
計画		①生涯学習推進事業の充	実			目	【01090402】文	化センター費
凹	主な取組					事業	A	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称					
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	▽ 事業開始年度不明			
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返し	, 〇 単年度のみ			
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助金等					
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	i)			
実施形態	☑町単独 □国·県補助		事業+町事業(上乗せ)				
事業概要	成人の輝かしい将来をす。	祝福すると共に希	望に満ちた第一歩を踏み出す	ための式典を開催しま			

●実施 ~D0~

成人式典の開催 日時 令和4年1月9日(日)午後2時から 場所 利根町文化センター 多目的ホール 新成人 161人 出席者 110人(男性54人,女性56人) 式典運営 新成人による実行委員会が行っています。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		10 需用費	384, 913 円	377,092 円	425, 579 円
		12 委託料	148, 500 円	165,000 円	198,000 円
支出	内		円	円	円
	訳		円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
		事業費計	533, 413 円	542,092 円	623, 579 円
			, , , , ,	1 1=, 11= 1 1	1
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
			·	·	
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
財	内	主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金	令和元年度(実績) 円	令和 2 年度(実績) 円	令和3年度(実績) 円
財源	内訳	主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金	令和元年度(実績) 円	令和 2 年度(実績) 円 円	令和3年度(実績) 円 円
		主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金	令和元年度(実績) 円 円	令和 2 年度(実績) 円 円	令和3年度(実績) 円 円
		主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	令和元年度(実績) 円 円 円	令和 2 年度(実績) 円 円 円	令和3年度(実績) 円 円 円

		•	貢献している 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	成人を祝うと共に、自覚を持ち、積極的な社会参加を推進するために式典を開催ます。
性	②町関与の妥当性	0	妥当である ○ 見直す余地がある ○ 見直す余地がある
	町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	将来の町の担い手としての自覚を持ってもらうため、町の関与は妥当と考えます。
	@ P.T I. A.W.	•	余地がない 見直す余地がある
	③成果の向上余地		企画運営につて、新成人による実行委員会を組織し、協議・ 調整を行っています。
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	調産で11 J C いより。
		0	可能性がある 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性		全国的国民行事であることから廃止・休止はできません。
性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	
			○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	類似事業はありません。
		0	余地がない 余地がある
効	⑥事業費の削減余地		事業費の主なものは、記念品購入費及び集合写真作成費と なっており、コスト削減の余地はありません。
率 性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	で
		0	適正である 見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	•	受益者負担を求める事業ではない
平性	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理由	お祝いを目的とした事業のため、受益者負担を求める事業ではありません。

	継続 (● 現状維持 ● 縮小 ● 改善 ● 拡大) ● 休止 ● 廃止(終了) ● 統廃合 ●連携
	【理由】
今	新成人の祝福と町の将来の担い手としての自覚を持ってもらうため、継続して式典を開催していきます。
後 の	
方	
向	
性	

●基本情報

事	葉名(取組名)	音のまちTONE推進事	業				評価番号	3-3-8-1 (3)
	担当課 生涯学習課 係 社会教育係						☑ 予算なし	
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続ける	まちづくり	7	会計		
4	基本施策	【3】学びやすい生涯学	学習環境の整	整備	予算	款		
基本	施策	【8】地域の特性を活か	【8】地域の特性を活かした生涯学習事業の推進					
計画		①生涯学習推進事業の充	実		目	目		
_	主な取組					事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年月	要 ☑ 事業開始年度不明	J			
事業期間	○ 期間限定あり (事業終	了年度:令和	年度) ● 単年度総	繰り返し 🌕 単年度のみ				
実施手法	□ 町が直接実施(直営)	□ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助金等						
(すべてチェック)	☑ 町民協働 □ 指	☑ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()						
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)					
事業概要	町主体の生涯学習ボラ	ンティアによる音:	楽演奏を通じてのまちづ	がくり事業となります。				

●実施 ~D0~

	- > >					
	た	音楽に携わる住民の演 。	奏機会を提供する予定でした	が,コロナウイルス感染拡大	防止のため中止としまし	
事業 業績						
		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	
支	内					
出	訳					
		事業費 計				
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	
		国支出金				
		県支出金				
財	内	受益者負担金				
源	訳	地方債				
		その他				
		一般財源				
		事業費計				

妥当性			貢献している	○ 見直す余地がある
	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。			後会を提供することにより住民サービスの るため、貢献できていると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。			○ 見直す余地がある 機会を提供することにより住民サービスの そるため,妥当であると考えます。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	•	余地がない 現状の内容で充分であ	○ 見直す余地がある 5ると考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。		可能性がある 町民が積極的にボラン 止は妥当ではないと考	● 可能性がない シティア活動に参加しているため廃止や休 うえます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		0 1	を性がない ●類似事業はない いないため、統廃合・連携を図ることは出
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。		31 2,1 01	余地がある いないため,削減できる余地はありませ
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	_	適正である 〇 受益者負担を求める事業で	見直す余地がある はない

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	生涯学習活動を行う機会を提供することにより住民サービスの向上を図ることができるため、今後も事業を
	継続していく必要があります。
の方	
向	
性	

●基本情報

事業名(取組名) 文化センター講座事業					評価番号	3-3-8-2(1)		
	担当課	生涯学習課【文化セン 係 庶務係			□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				会計	【01】一般会計	
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	やすい生涯学習環境の整備			款	【0109】教育費	
基本	施策	【8】地域の特性を活か	【8】地域の特性を活かした生涯学習事業の推進					教育費
計画		②住民ニーズに応じた学	習講座の関	開催]_	目	【01090402】文	化センター費
	主な取組					事業	A	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称					
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	☑ 事業開始年度不明			
事業期間	○ 期間限定あり (事業終	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返し	, 単年度のみ			
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	[] 全部委託] 一部委託]	□ 補助金等			
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()						
実施形態	☑町単独 □国·県補助事業 □国·県補助事業+町事業(上乗せ) □その他()						
事業概要	住民の教養向上・健康増進を目的として,住民ニーズや実情に合わせた講座を開催します。						

●実施 ~D0~

料理&お菓子作り,リラックス体操,やさしいヨガ2講座,つまみ細工,花を使った小物作り2講座,太極拳,絵手紙,親子でリトミック,クリスマスリース,11講座を開催し,受講者数は延べ413人となりました。

事業 業績

主な歳出の節		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	390,000 円	228,000 円	276,000 円
			Ħ	Ħ	円
支	内		PI	円	円
出	訳		円	円	円
			H	円	円
			Ħ	円	円
	事業費 計		390,000 円	228,000 円	276,000 円
主な歳入の科目		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	Ħ	Ħ	円
		県支出金	Ħ	円	円
財	内	受益者負担金	Ħ	Ħ	円
源	訳	地方債	Ħ	Ħ	円
		その他	PI	円	円
		一般財源	390,000 円	228,000 円	276,000 円
		事業費 計	390,000 円	228,000 円	276,000 円

			貢献している 見直す余地がある
	①政策目的との整合性		住民の教養向上及び健康増進に貢献しています。
	事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		
妥当			
性	②町関与の妥当性	0	妥当である 見直す余地がある 見直す余地がある
		理	住民の教養向上及び健康増進を目的にしていることから町の 関与は妥当と考えます。
	町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	由	
			余地がない
	③成果の向上余地		住民ニーズや実情に応じた講座を開催するため、毎年開催内
	事業内容を工夫することにより成果を	理	容の見直しを行っております。
	向上させることができますか。		
	④廃止・休止の可能性		可能性がある ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1月			住民の教養向上及び健康増進の目的から、廃止・中止はでき
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき	理由	ません。
	ますか。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		○可能性がある ●可能性がない ○類似事業はない
			生涯学習センター講座の内容と重複しないよう調整を行います。
杰	⑥事業費の削減余地	0	余地がない ○ 余地がある 事業費は、全て講師謝礼となっており、コスト削減は困難と
効 率	成果を下げずにコスト削減できます	理	事来員は、主と時間めれこなりであり、コスト門がは四無と 考えます。
性	か。	由	
			適正である ・・・・・ 見直す余地がある
公 平 性	⑦受益者負担の適正化		受益者負担を求める事業ではない
			受講に必要な消耗品等は、参加者の負担となっていることか
	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理由	ら、負担割合は適正と考えます。

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	住民の教養向上及び健康増進を図るため,住民ニーズや実情に応じた講座を継続して開催します。
後 の	
方	
向	
性	

●基本情報

事業名(取組名) ふれあい学習講座事業						評価番号	3-3-8-2(2)
	担当課	生涯学習課【生涯学習セ ンター】 係	庶務係			☑ 予算なし	
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計		
基本計画	基本施策	【3】学びやすい生涯学習環境の整備			款		
	施策	【8】地域の特性を活かした生涯	学習事業の推進	科目	項		
		②住民ニーズに応じた学習講座の)開催		Ш		
	主な取組				事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称					
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	30 年度	□ 事業開始年度不明		
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度)	● 単年度繰り返し	単年度のみ		
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	(全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等		
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()						
実施形態	☑町単独 □国・県補助事業 □国・県補助事業+町事業(上乗せ) □その他()						
事業概要	町民のニーズにあった学習講座(ふれあい楽集講座)をボランティアの講師により随時開催します。						

●実施 ~D0~

事業業績	止	令和3年度は,「楽し のため,開催を中止い	いクルーズの旅と英会話講座 たしました。	区」を開催予定でしたが,	新型コロナウイルス感染拡大防
		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
支	内				
出	訳				
		事業費計			
		主な歳入の科目	令和元年度 (実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金			
		県支出金			
財	内	受益者負担金			
源	訳	地方債			
		その他			
		一般財源			
		事業費 計			

		-	
	① Ta ケロ 40 1. の 数 人 44		貢献している ○ 見直す余地がある
	①政策目的との整合性		生涯学習ボランティアによるまちづくり事業を推進してま
	事業目的が上位政策(主な取組)の達	理	t
55	成に貢献していますか。	由	
妥当			
性		0)妥当である 見直す余地がある
	②町関与の妥当性		住民ニーズに応じた多様な学習講座の開催が必要と考えま
	町が事業主体として事業を行うことが	理	† .
	妥当ですか。	由	
	③成果の向上余地)余地がない ● 見直す余地がある ● 単正学習ボランティア事業のひとつとして、町民講師の発掘
	S.M., 1. 1 = 1. 2		生涯子首ホランティア事業のひとうとして、 町氏講師の発掘 が必要と考えます。
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	
	向上させることができますが。		
			〕 可能性がある● 可能性がない
有	④廃止・休止の可能性		生涯学習推進のため、住民ニーズに応じた多様な学習講座の
効	事業の内容や成果から廃止・休止でき	理	開催が必要と考えます。
性	ますか。	由	
			○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		類似事業はありません。
4.1	⑥事業費の削減余地	0)余地がない () 余地がある
効 率	3 7 3 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		事業の運営は、ボランティアにより実施してますので謝金について支出はありません。
性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	
	<i>y</i>		
		0) 適正である
公 平 性	⑦巫共来色担の第 エル	0	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	⑦受益者負担の適正化		講座に係る経費(材料費)は、自己負担となっていることか
	事業内容から受益者の負担割合は適正	理	ら適正と考えます。
_	ですか。	由	

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	今後も、町民の二一ズにあった学習講座(ふれあい楽集講座)を、生涯学習ボランティアによるまちづくり
	事業推進のひとつとして継続が必要と考えます。
の方	
向	
性	

●基本情報

事業名(取組名) 生涯学習講座事業							評価番号	3-3-8-3(1)	
	担当課	生涯学習課【生涯学習セ ンター】	係	庶務係			□ 予算なし		
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり						
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	智環境の整	整備	予算	款	【0109】教育費		
基本	施策	【8】地域の特性を活か	した生涯	学習事業の推進	科目	項	【010904】社会教育費		
計画		③子ども体験事業の推進			I	目	【01090406】生	涯学習事業費	
	主な取組					事業	A		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	▼ 事業開始年	度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度) ● 単年度網	燥り返し 〇 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	[] 全部委託] 一部委託	托] 補助金等	
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	ß)
実施形態	☑町単独 □国·県補E	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	その他()
事業概要	青少年育成として、子と本文化の体験や親子でのます。		わく体験講座・親子ふれ 他の小学校の児童との交		

●実施 ~D0~

-令和3年度は、小学生の夏休み期間中に、華道教室、琴教室、縄文土器づくり教室、わくわく体験講座を実施しましたが、開催途中で県及び国の緊急事態宣言が発令されたため、中止となりました。 (参加者合計69名)

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	190,000 円	73,500 円	171,000 円
		10 需用費	18,429 円	9,718 円	90, 420 円
支	内		円	円	円
出	訳		円	円	円
			円	円	円
		その他	12,300 円	円	419, 450 円
		事業費 計	220, 729 円	83, 218 円	680, 870 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
財	内	受益者負担金	円	円	円
源	訳	地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	220, 729 円	83, 218 円	680, 870 円
		事業費 計	220, 729 円	83, 218 円	680, 870 円

		•) 貢献している
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	主に、小学児童を対象とした体験講座、親子で一緒に体験する講座をとおして生涯学習活動の推進を図っています。
性		0	妥当である 見直す余地がある
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	町内の小学児童に対して、豊かな人間性を育むため、多様な学習機会を提供することが必要と考えます。
		0	余地がない 見直す余地がある
	③成果の向上余地		現在は、主に夏休み等の長期休暇に講座を開催している。夏 休みは、児童にとって、学校の課題やスポーツ活動などもある
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	ことから、これ以上の講座の開催は難しいと考えます。
	(3 to 1 1 1 2 to 1 1 1 2 to 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	可能性がある 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性		特に、日本の伝統文化(茶道・琴・華道)の体験や、親子で 陶芸をするなど、貴重な体験であることら、廃止や休止は考え
性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	ておりません。
			○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	類似事業はありません。
		0	余地がない 余地がある
効	⑥事業費の削減余地		支出については、主に講師謝礼等の経費であり、材料費等は 自己負担となっています。これ以上の削減は難しいと考えま
率 性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	古し真担となっているす。これの工の削減は乗しいと考えるす。
		•) 適正である
公	⑦受益者負担の適正化	0	/ <u>人面口穴にといいり</u>
平	事業内容から受益者の負担割合は適正		原則として, 講座に係る経費(材料費)は自己負担となっていることから, 適正と考えます。
性	ですか。	理由	

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	日本の伝統文化(茶道・琴・華道)の体験などは、貴重な体験と考えています。また親子で一緒に物づくり
後の	の体験をすることも重要なので、継続が必要と考えます。
の方	
向	
性	

●基本情報

事	業名(取組名)	英語教室事業					評価番号	3-3-8-3 (2)	
	担当課 生涯学習課【生涯学習セ 係 庶務係					□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				会計	【01】一般会計		
	基本施策	【3】学びやすい生涯学習環境の整備					【0109】教育費		
基本	施策	【8】地域の特性を活か	した生涯等	学習事業の推進	科目	項	【010904】社会	教育費	
計画		③子ども体験事業の推進			I	目	【01090406】生	涯学習事業費	
	主な取組					事業	英語教室事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	30 年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終	了年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	□ 町が直接実施(直営)	✓ 委託	〔 全部委託	☑ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□町民協働□指	定管理	i	ė ()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	乗せ) □その他	, ()
事業概要	小学生を対象とした英で、英語への興味関心を				楽しく英語にふれること

●実施 ~D0~

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、途中開催が中止になることもありましたが、利根町図書館を会場に、全13回、延べ225名の参加者がありました。

事業 業績 本されることでは、引き続き町内小学校のALTの先生に依頼をしており、学校の授業のように親しみをもって 英語教室の開催ができるように配慮しています。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		7 報償費	52, 000	円	44, 000 F	3	100, 000	円
		10 需用費	14, 497	円	30, 525 F	3	3, 564	円
支出	内	12 委託料	326, 800	円	198,000 円	3	330, 000	円
	訳			田	F	3		円
				田	F	3		円
				田	F	3		円
		事業費 計	393, 297	田	272, 525 F	3	433, 564	円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		主な歳入の科目 国支出金	令和元年度(実績)	円	令和2年度(実績) 円	3	令和3年度(実績)	円
			令和元年度(実績)	円円		-	令和3年度(実績)	円 円
財	内	国支出金	令和元年度(実績)		F	3	令和3年度(実績)	
財源	内訳	国支出金	令和元年度(実績)	円	F.	3	令和3年度(実績)	円
		国支出金 県支出金 受益者負担金	令和元年度(実績)	円 円	F.	3	令和3年度(実績)	円円
		国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	令和元年度(実績) 393, 297	円 円	F.	3 3	令和3年度(実績)	円 円 円

			貢献している	見直す余地がある
	①政策目的との整合性		242	
妥当	事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	小学生を対象とした学育成のために, 英語教室	習教室の拡充として, 国際的な社会人 を開催しました。
性		0	<u> </u>	見直す余地がある
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由		するにあたり,より多く英語に触れる さって,英語に関して興味関心を持ち, ぶると考えます。
		0)見直す余地がある
	③成果の向上余地			英語教室開催しており、教室の運営内
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	容を検討することにより えます。 	参加者の増加を図ることができると考
		0	51351=270	● 可能性がない
1月	④廃止・休止の可能性		国際的な社会人育成に	:必要不可欠であると思います。
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由		
			○可能性がある ○可能性	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	類似事業はありません	/o
		0	余地がない 余地	
効	⑥事業費の削減余地			英語講師派遣委託料及び補助員2名の
率 性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	謝礼金であるため、削減	は難しいと考えます。
		0	適正である 見	直す余地がある
	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業ではな	()
公平性	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理由	英語に親しむことを基 は難しいと考えます。	本として考えているため,受益者負担

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	これからの国際化社会に対応するために,英語に親しむ機会の提供を継続することは必要と考えます。
後 の	
方	
向	
性	

●基本情報

事	業名(取組名)	業名(取組名) 利根町子ども自然体験交流事業						3-3-8-4	
	担当課 生涯学習課 係 社会教育係					予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				【01】一般会計		
	基本施策	【3】学びやすい生涯学習環境の整備					【0109】教育費		
基本	施策	【8】地域の特性を活か	した生涯等	学習事業の推進	科目	項	【010904】社会	教育費	
計画		④移動学習事業の充実				目	【01090406】生	涯学習事業費	
	主な取組					事業	生涯学習講座事	業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	なし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	令和	元 年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	i	也 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補胆	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	ニ乗せ) □その他	, ()
事業概要	移動学習として自然体	験交流事業を実施	し異年齢及び	他の小学校の児園	音との交流を図ります 。

●実施 ~D0~

業績

新型コロナウイルスの感染の影響により夏季に実施予定であったが、延期をし冬季に実施した。利根町の児童20名、嬬恋村の児童10名が参加し実施した。異年齢及び他の小学校の児童と交流することにより、児童たちの人間性及び社会性のを育むことができた。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	27, 000	円	円	77,000 円
		8 旅費	52, 920	円	円	60, 450 円
支	内	10 需用費	43, 032	円	円	69,080 円
出	訳	11 役務費	1, 875	円	円	2,500 円
		12 委託料	159, 840	円	巴	204, 490 円
		その他	105, 170	円	円	152,010 円
		事業費 計	389, 837	円	0 円	565, 530 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金		円	円	Ħ
		県支出金		円	円	Ħ
財	内	受益者負担金	75, 000	円	円	100,000 円
源	訳	地方債		円	円	Ħ
		その他		円	円	Ħ
		一般財源	314, 837	円	円	円
	事業費計		389, 837	円	0 円	100,000 円

		0	貢献している 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	子どもを対象とした宿泊を行う事業は当事業のみのため貢献できていると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	○ 見直す余地がある バスや宿泊先の手配等町が段取りを行う必要があるため、妥当 と考えます。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	○ 余地がない ○ 見直す余地がある 宿泊学習ということから工夫の余地はないと考えます。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由)可能性がある ● 可能性がない 参加希望者がいるため、廃止や休止は妥当ではないと考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある●可能性がない類似の事業を行っていないため、統廃合・連携を図ることは出来かねます。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	○ 余地がない ○ 余地がある 支出については、主に講師謝礼等の経費や児童たちの自然体験 に必要な場所を見学するため費用となるため削減できる余地は ありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理由	適正である

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携	
	【理由】	
今後	- 移動学習事業の体験交流について,他市町村の児童との交流の場でもあることから,今後も事業を継続 いく必要があります。	売して
の方		
向		
性		

●基本情報

事	業名(取組名)	旧東文間小学校管理	事業				評価番号	3-3-9-1
	担当課	生涯学習課【生涯学習セ 係 庶務係					□ 予算なし	
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり					【01】一般会計	
4	基本施策	【3】学びやすい生涯学	整備	予算	款	【0109】教育費		
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	備充実		科目	項	【010904】社会	教育費
計画		①生涯学習施設の有効活	①生涯学習施設の有効活用				【01090401】社	会教育総務費
	主な取組					事業	旧東文間小学校	管理事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称					
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	30 年度	事業開始年度不明		
事業期間	○ 期間限定あり(事業終了年	年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ		
実施手法	☑ 町が直接実施(直営)	✓ 委託	全部委託	☑ 一部委託 〕	□ 補助金等		
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定領	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 (
実施形態	☑町単独 □国·県補助事	事業 □国・県補助	事業+町事業(上	:乗せ) □その他	g ()		
事業概要	旧東文間小学校跡地の管 	理のため, 環境	整備の充実を	図ります。			

●実施 ~D0~

旧東文間小学校跡地の管理のため、除草業務委託、樹木伐採工事を行い、環境整備の充実を図りました。 事業 業績 主な歳出の節 令和元年度(実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 12 委託料 429,000 円 429,000 円 466, 400 円 14 工事請負費 円 1, 765, 500 円 605,000 円 支 円 円 円 訳 円 円 円 出 円 円 円 その他 214, 599 円 円 54, 085 円 事業費 計 643, 599 円 2, 194, 500 円 1, 125, 485 円 主な歳入の科目 令和元年度 (実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 国支出金 円 円 円 県支出金 円 円 円 財 円 円 受益者負担金 円 円 円 円 源 地方債 円 円 円 その他 一般財源 643, 599 円 2, 194, 500 円 1, 125, 485 円 事業費 計 643, 599 円 2, 194, 500 円 1, 125, 485 円

	-	•	貢献している	○ 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	学びやすい生涯学習	習環境の整備を行っています。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。		妥当である 町民ニーズに対応し 効活用するための整値	○ 見直す余地がある した学びやすい町の生涯学習施設として有 情を行っています。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。			○ 見直す余地がある として有効活用するために取り組んでお 整備を行って施設の利活用を検討します。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。		可能性がある 事業の内容や,成身 えます。	● 可能性がない果からも、事業の廃止・休止は難しいと考
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	S 11121-1111	能性がない ・受類似事業はない 以事業はないと考えます。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。		.3. 2,7 0 1	余地がある 法の変更等を見直しできれば、成果を下げ 戻地があります。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	_	受益者負担を求める事業で	見直す余地がある はない 皆負担を求める事業ではありません。

	() 3	() wh		/ C) P	が止 () 無止	. (ボミコ)	() 統廃合	○連携
]								
			環境の整備	iをし、 a	あわせて生涯	学習施詞	殳として有効	活用できるよう
取り組み維持・彗	整備に努め	ます。						
		- 文間小学校の管理を行い。	_	- 文間小学校の管理を行い、引き続き環境の整備	- 文間小学校の管理を行い,引き続き環境の整備をし,	- 文間小学校の管理を行い,引き続き環境の整備をし,あわせて生涯	- 文間小学校の管理を行い,引き続き環境の整備をし,あわせて生涯学習施記	- 文間小学校の管理を行い,引き続き環境の整備をし,あわせて生涯学習施設として有効

●基本情報

事	業名(取組名)	文化センター管理事	業				評価番号	3-3-9-2(1)
	担当課	生涯学習課【文化セン 係 庶務係					□ 予算なし	
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	まちづくり	7	会計	【01】一般会計		
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	 整備	予算科	款	【0109】教育費		
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	【9】生涯学習環境の整備充実				【010904】社会	教育費
計画		②生涯学習施設の整備			目	目	【01090402】文	化センター費
	主な取組					事業	文化センター管	理事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度		年度	✓ 事業開始年度不明			
事業期間	○ 期間限定あり (事業終う	了年度:令和	年度) ● 単	単年度繰り返し	○ 単年度のみ			
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	☑ 町が直接実施(直営)						
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()						
実施形態	☑町単独 □国·県補印	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	□その他	()			
事業概要	施設利用者が安全且つ	施設利用者が安全且つ快適に施設を利用出来るよう施設管理の充実を図ります。						

●実施 ~D0~

施設設備の維持管理のため様々な業務委託を実施するとともに、修繕工事を行いました。また、エレベーター設計業務委託を実施しました。

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	810, 000	円	1,803,356 円	1,886,879 円
		10 需用費	8, 201, 652	円	8, 963, 310 円	6, 902, 975 円
支	内	12 委託料	6, 935, 804	円	5, 912, 300 円	10, 261, 790 円
出	訳	14 工事請負費	19, 126, 264	円	79, 970, 000 円	715,000 円
		17 備品購入費	2, 878, 391	円	367, 400 円	141,900 円
		その他	1, 880, 106	円	849, 135 円	173, 290 円
		事業費計	39, 832, 217	円	97, 865, 501 円	20, 081, 834 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金		円	円	715,000 円
		県支出金		円	円	円
財	内	受益者負担金		円	円	円
源	訳	地方債	16, 430, 000	円	79, 970, 000 円	4, 235, 000 円
		その他	1, 504, 643	円	1,088,398 円	1,077,253 円
		一般財源	21, 897, 574	円	16, 807, 103 円	14, 054, 581 円
	事業費計		39, 832, 217	円	97, 865, 501 円	20, 081, 834 円

	-	0	○ 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	生涯学習環境の整備を行い、誰もが気軽に利用できる施設の 維持管理を行います。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由)妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	○ 泉直す余地がある 常に利用者が安全・安心且つ快適に利用できるよう管理運営 を行っています。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	● 可能性がない 生涯学習活動の推進のため、廃止・休止できません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない事業内容から、類似事業との統合・連携による効果は期待できません。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由)余地がない
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理由	適正である

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今然	生涯学習活動の拠点として、幅広い年齢層が安全・安心・快適に利用出来る施設管理運営に努めていきま
後 の	す。
方	
向 性	
II	

●基本情報

事	事業名(取組名)	生涯学習センター管	理事業				評価番号	3-3-9-2(2)		
担当課 生涯学習課【生涯学習セ 係 庶務係						□ 予算なし				
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続ける	まちづくり	予	会計	【01】一般会計			
4	基本施策	i策 【3】学びやすい生涯学習環境の整備					【0109】教育費			
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	【9】生涯学習環境の整備充実				【010904】社会	教育費		
計画		②生涯学習施設の整備			科目	Ш	【01090403】生	涯学習センター費		
	主な取組					事業	生涯学習センタ	一管理事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称				
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	14 年度	□ 事業開始年度不明	
事業期間	○ 期間限定あり(事業終了	7年度:令和	年度)	● 単年度繰り返し	単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	✓ 委託	〔 全部委託	☑ 一部委託 〕	□ 補助金等	
(すべてチェック)	□町民協働□指	定管理	_□	也 ()	
実施形態	☑町単独 □国·県補助	カ事業 □国・県補助	事業+町事業(」	ニ乗せ) □その化	<u> </u>	
事業概要	地域活動の拠点として図ります。	,生涯学習センタ [・]	一の利用者が	快適に使用でき	るよう管理運営の充実?	を

地域活動の拠点として、生涯学習センター運営管理に対し、適宜予算措置を行い環境整備の充実を図りまし

●実施 ~D0~

た。 事業 業績 令和元年度 (実績) 令和2年度(実績) 主な歳出の節 令和3年度(実績) 1 報酬 659, 220 円 789, 300 円 824,600 円 10 需用費 4, 976, 911 3, 255, 904 円 3, 267, 884 円 円 支 円 円 円 12 委託料 3, 128, 486 3, 338, 163 2, 905, 628 訳 14 工事請負費 887, 673 円 1, 303, 082 円 1, 190, 200 円 出 17 備品購入費 564, 796 円 774, 950 円 2, 287, 120 円 その他 1, 356, 298 円 1, 022, 541 円 946, 550 円 事業費 計 10, 483, 940 円 11, 421, 982 円 11, 573, 384 円 主な歳入の科目 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 令和元年度 (実績) 国支出金 円 円 127, 840 円 円 円 円 県支出金 財 円 円 受益者負担金 円 訳 円 円 地方債 800,000 1, 200, 000 円 源 円 円 円 その他 1, 096, 368 933, 413 706, 394 一般財源 10, 477, 016 8, 750, 527 円 9, 387, 748 円 円 円 円 11, 421, 982 円 事業費 計 11, 573, 384 10, 483, 940

		0	貢献している 見直す余地がある
	①政策目的との整合性		生涯学習施設の環境整備を行い、趣味のサークル活動など、 誰もが気軽に利用できる生涯学習施設として貢献しています。
	事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	
妥当			
性	②町関与の妥当性	0	図当である 見直す余地がある □ 見直す余地がある □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	S 1875 1 20 A 12	理	町民のニーズに対応した学びやすい町の生涯学習施設として 有効活用するため妥当であると思います。
	町が事業主体として事業を11分ことが 妥当ですか。	由	
		6	\(\rightarrow\) \(\rightarrow\
	③成果の向上余地)余地がない ○ 見直す余地がある ○ 見直す余地がある ○ 生涯学習活動の拠点となるよう、施設の整備及び効率的な運
	事業内容を工夫することにより成果を	理	営を行っており、余地はないと思います。
	向上させることができますか。	由	
		С	〕 ○ 可能性がある
有	④廃止・休止の可能性		事業の内容や成果から、廃止・休止はできないと考えます。
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	
	9. A W.º	I	
	②野川古光」の休存入 古様のコ化林		○可能性がある ●可能性がない ○類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること	TED	事業内容から類似事業はありません。
	により成果が期待できますか。	理由	
		_	_
効	⑥事業費の削減余地	0	余地がない
率	成果を下げずにコスト削減できます	理	コストを削減することは難しいと考えます。
性	か。	由	
		(適正である 見直す余地がある
	⑦受益者負担の適正化	_	受益者負担を求める事業ではない
公平	事業内容から受益者の負担割合は適正		利用団体等へ利用料金として受益者負担を求めるものであり、適正であると考えます。
性	ですか。	理由	7, 旭丘(30分に行んより。

	継続	(② 現状維持	(縮小	○ 改善	○ 拡大)(休止	○ 廃止(終了)	() 統廃合	○連携
	【理由】								
今							学習施設環境の	整備充実に取	り組み、幅広し
後の	年齢層の	人々が安心して	て活動でき	る施設と	して運営を	充実・強化	していきます。		
の方									
向									
性									

●基本情報

哥	事業名(取組名) 図書館管理・運営事業						評価番号	3-3-9-2(3)		
担当課 生涯学習課【図書館】 係 庶務係						□ 予算なし				
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続けるる	まちづくり	予	会計	【01】一般会計			
	■ 基本施東 【3】字ひやすい生涯字省環境の整備 【3】字ひやすい生涯字省環境の整備					款	【0109】教育費			
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	循充実		科目	項	【010904】社会	教育費		
計画		②生涯学習施設の整備	生涯学習施設の整備				【01090408】図	書館費		
	主な取組					事業	図書館管理・運	営事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	8 年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度)	単年度繰り	返し 〇 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	□ 一部委託	〕
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	3 <u></u> その他	3 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	:乗せ) □ で	の他 ()
事業概要	生涯学習を推進するた 民の利用を促進するため			理するととも	に、図書の貸し出しなど住

●実施 ~D0~

空調設備の老朽化に伴い令和4年度に改修工事を行うため、空調設備改修工事設計業務委託を行いました。 また、施設の維持管理のため様々な業務委託を行い、必要な修繕工事を行いました。 資料の充実として、図書や雑誌などを継続的に購入し、幅広い分野の蔵書を増やしました。

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		1 報酬		円	12, 005, 875 円	12, 331, 114 円
		10 需用費	10, 191, 486	円	9, 893, 760 円	9, 582, 461 円
支	内	12 委託料	4, 681, 565	円	4, 932, 378 円	8, 503, 726 円
出	訳	14 工事請負費	5, 280, 058	円	11, 735, 900 円	2, 065, 382 円
		17 備品購入費	4, 849, 855	円	8, 599, 470 円	2, 999, 652 円
		その他	12, 585, 104	円	2, 318, 322 円	3, 319, 530 円
		事業費 計	37, 588, 068	円	49, 485, 705 円	38, 801, 865 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金		円	8, 028, 865 円	614, 350 円
		県支出金		円	円	円
財	内	受益者負担金		円	円	円
源	訳	地方債	3, 600, 000	円	11,500,000 円	5, 400, 000 円
		その他	87, 720	円	42, 350 円	43,309 円
		一般財源	33, 900, 348	円	29, 914, 490 円	32, 744, 206 円
		事業費 計	37, 588, 068	円	49, 485, 705 円	38, 801, 865 円

		•	貢献している	○ 見直す余地がある	5
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	町の生涯学習活動持向上を図ることができ		施設として,文化教養の す。
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由		はありませんが,	る あり、すべてが指定管理 図書館においても検討す
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由			る いて電子図書館を導入す 見直す余地はあると考え
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	可能性がある 住民が日常的に利用しると、図書館の廃止		じんでいる現状を考慮す ありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある ○可作	で性がない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	類似事業はない
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。		指定管理者制度を導	5人材の育成がで	削減は可能と思われます きないなど、直営に戻し
公 平 性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	_	適正である 受益者負担を求める事業で	見直す余地がある	

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	公立図書館の持つ役割と、利根町図書館の規模や利用状況を鑑み、併せて電子図書館の導入を検討していき
後 の	ます。 また、図書館は、災害時の代替本部第1位に位置付けられ、防災上重要な役割を担っているため、適切な施
方	設修繕を行っていきます。
向 性	
ΊΞ	

●基本情報

事	業名(取組名)	子ども読書支援事業					評価番号	3-3-9-3(1)			
担当課 生涯学習課【図書館】 係 庶務係						□ 予算なし					
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり					[01] 一般会計			
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	智環境の整	整備	予算	款	【0109】教育費				
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	循充実		科目	項 【010904】社会教育費					
計画		③学習活動の場の提供と利用促進		П	目	【01090408】図	書館費				
	主な取組					事業	子ども読書支援	事業			

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成 23	年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度) ①	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	全部委託 🗌	一部委託	□ 補助金等
(すべてチェック)	☑ 町民協働 □ 指	定管理	□ その他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補E	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ	*)	()
事業概要	子どもの読書活動を推進 て育児中の家庭を支援し		と学習知識への興	は味を醸成しま	ぎす。また,読書を介し

●実施 ~D0~

新生児3・4か月児健診時に絵本を2冊43名にプレゼントしました。また、小学1年生67名に本1冊を プレゼントし、あわせて、読んでもらいたい推薦図書リストを渡しました。 通常であればブックスタートボランティアが健診時に絵本の読み聞かせを行いますが、新型コロナウイルス 感染症拡大の影響により中止となりました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		10 需用費	264, 055 円	194, 825 円	210, 137 円
支出			円	円	円
	内		円	円	円
	訳		円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
		事業費 計	264, 055 円	194,825 円	210, 137 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		主な歳入の科目 国支出金	令和元年度(実績) 円	令和2年度(実績) 円	令和3年度(実績) 円
財	内	国支出金	А	Ħ	н
財源	内訳	国支出金	P P	H H	円 円
		国支出金 県支出金 受益者負担金	円 円	円 円	円 円 円
		国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	円 円 円	円 円 円	円 円 円

		•	貢献している 見直す余地がある
	①政策目的との整合性		子供の読書活動の推進にかかる取り組みを、より一層充実させることができていると考えます。
	事業目的が上位政策(主な取組)の達	理由	とることができていると考えます。
妥当	成に貢献していますか。		
当 性		•	□ 妥当である □ 見直す余地がある
,	②町関与の妥当性		ボランティアとの協働で事業を実施していますが、特にブッ
	町が事業主体として事業を行うことが	理	クスタートは保健福祉センターとの調整が必要であるため、町 が主体となり事業を行うことが妥当であると考えます。
	妥当ですか。	由	
			◇ 見直す余地がある
	③成果の向上余地		新たなボランティア団体を募るなど、これまでやってきたこ
	事業内容を工夫することにより成果を	理	とを継続していけるような工夫が必要と考えます。
	向上させることができますか。	由	
			 可能性がある
有	④廃止・休止の可能性		乳幼児期から親子が本に親しむことができる環境づくりを行
効	事業の内容や成果から廃止・休止でき	理	うことは重要であり、廃止・休止の可能性はありません。
性	ますか。		
			O the first state of the control of
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性		○可能性がある○可能性がない●類似事業はない
	類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理	
		由	
#r	⑥事業費の削減余地	0	余地がない
効 率	成果を下げずにコスト削減できます	理	もたちに配布する本の購入費用であるため、これ以上の削減余
性	成果を下げずにコスト削減できますか。	由	地はありません。
		_	適正である 見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化		受益者負担を求める事業ではない
平 性	事業内容から受益者の負担割合は適正	理	
,	ですか。	由	

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	今後、事業を検討していくため、新たなボランティア団体を募るなど内容を創意工夫して改善していきます。
後の	また、コロナ禍の状況を鑑みて検討していきます。
方	
向	
性	

●基本情報

事	事業名(取組名) 図書館講演会・講座事業						評価番号	3-3-9-3(2)
担当課生涯学習課【図書			係	庶務係			□ 予算なし	
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				会計	【01】一般会計	
4	基本施策	【3】学びやすい生涯学	【3】学びやすい生涯学習環境の整備			款	【0109】教育費	
基本	施策	【9】生涯学習環境の整		科目	項	【010904】社会	教育費	
計画		③学習活動の場の提供と	利用促進			Ш	【01090408】図	書館費
	主な取組					事業	図書館講演会・	講座事業

●計画 ~PLAN~

●実施 ~D0~

春休み子ども映画会に上映する映画DVD1本を賃借しましたが,新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 映画会と文庫講演会は中止となりました。

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	
		13 使用料及び賃借料	59, 400 円	33,000 円	33,000 円	
支出			H	円	円	
	内		P	H	円	
	訳		Ħ	円	円	
			H	円	円	
			H	円	円	
		事業費 計	59, 400 円	33,000 円	33,000 円	
				<u>i</u>		
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	
		主な歳入の科目 国支出金	令和元年度(実績) 円	令和2年度(実績) 円	令和3年度(実績) 円	
財	内	国支出金 県支出金 受益者負担金	円	Н	А	
財源	内訳	国支出金 県支出金 受益者負担金	H H	円 円	円 円	
		国支出金 県支出金 受益者負担金	円 円	円 円	円 円 円	
		国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	円 円 円	円 円 円	円 円 円	

			貢献している 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	講演会(公演会)や映画会を開催することで、大人から子どもまで幅広い年代の住民参加が期待できると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	余地がない● 見直す余地がある講演会(公演会)の出演者や内容,映画会の上映作品の選定などについて見直す余地はあると考えます。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	可能性がある ● 可能性がない 他ではなかなか鑑賞できないような古い時代の洋画作品なども 上映しているため、根強い映画ファンに支持されているので、 廃止・休止の可能性はありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	余地がない
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	_	適正である

	継続	(○ 縮小	② 改善	○ 拡大)(休止	魚 廃止 (終了)	() 統廃合	○連携
	【理由】								
今後		に足を運んでも 状維持のまま			ってもらう	ために開催し	しているイベン	トであり, 🗲	う後も必要な事業
の方					品の選定な	さどについて,	利用者の方から	う意見を聴く	くなど検討してい
向 性	C & 7 °								
II									

●基本情報

事	事業名(取組名) 文化芸術事業						評価番号	3-4-10-1 • 2 • 3
担当課 生涯学習課【文化セン 係 庶務係						□ 予算なし		
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			7	会計	【01】一般会計	
4	基本施策	【4】参加しやすい文化	こ・スポーツ	ソ環境の整備	予算	款	【0109】教育費	
基本	施策	【10】文化活動の振興	ļ		科目	項	【010904】社会	教育費
計画		①文化芸術事業の推進				目	【01090402】文	化センター費
1	主な取組	②利根町文化祭への支援	長と協力			事業	文化芸術事業	
		③文化協会等への支援と	協力					

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	✓ 事業開始年度不明				
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返し) 〇 単年度のみ				
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	[] 全部委託] 一部委託]	□ 補助金等				
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	彉 □ その他 ()				
実施形態	☑町単独 □国·県補助	☑町単独 □国・県補助事業 □国・県補助事業+町事業(上乗せ) □その他()						
事業概要	町民の文化芸術への意	識を高め,潤いの	ある街づくりを目的に, コン	サートを開催します。				

●実施 ~D0~

新型コロナの影響により、コンサートは中止となりました。 事業 業績 主な歳出の節 令和元年度(実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 10 需用費 123,383 円 78, 452 円 円 12 委託料 1, 265, 000 円 1, 210, 000 円 円 支 円 円 円 訳 円 円 円 出 円 円 円 円 円 円 事業費 計 1, 388, 383 円 1, 288, 452 円 円 令和元年度 (実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 主な歳入の科目 国支出金 円 円 円 円 円 円 県支出金 財 円 円 円 受益者負担金 地方債 円 円 円 源 その他 550, 500 円 400,000 円 円 一般財源 円 円 837, 883 円 888, 452 事業費 計 1, 388, 383 円 1, 288, 452 円 0 円

		•	貢献している 見直す余地がある
	①政策目的との整合性		身近な場所で音楽に触れることにより、住民の文化意識の高
	事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		揚に貢献しています。
妥			
妥当			
性	②町関与の妥当性		町主催により、身近な場所で手軽に生の音楽に触れることが
	ー 町が事業主体として事業を行うことが	理	出来ることから妥当と考えます。
	町か争業主体として争業を行うことが 妥当ですか。	由	
		•	余地がない 見直す余地がある
	③成果の向上余地		限られた予算の範囲内で、常に集客力が高いと考えられる アーティストのコンサートを開催しています。
	事業内容を工夫することにより成果を	理由	プープイストのコンサートを開催しているす。
	向上させることができますか。		
			 可能性がある
有	④廃止・休止の可能性		住民の文化芸術への意識高揚のため、継続して実施していき
効	事業の内容や成果から廃止・休止でき	理	ます。
性	ますか。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性		○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	類似事業との統廃合・連携を図ること	理	類似した事業はありません。
	により成果が期待できますか。		
			余地がない 余地がある
効	⑥事業費の削減余地		有名アーティストのコンサートの開催は、高額な経費がかか
率 性	成果を下げずにコスト削減できます	理	ります。
'-	か。	由	
		•	適正である 見直す余地がある
公 平	⑦受益者負担の適正化		受益者負担として、入場料を徴収しています。
性	事業内容から受益者の負担割合は適正ですか	理	
	ですか。	由	

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携	
	【理由】	
今	幅広い分野から人気のあるアーティストによるコンサートの開催に努めます。	
後の		
の方		
向		
性		

●基本情報

事	工業名(取組名)	資料館管理事業						3-4-11-1	
	担当課 生涯学習課【生涯学習セ 係 庶務係					□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	まちづくり	予算	会計	【01】一般会計			
	基本施策						【0109】教育費		
基本	施策	【11】まちの文化遺産の保全					【010904】社会	教育費	
計画		①歴史民俗資料館の資料	展示の充乳	美	_	目	【01090405】資	料館費	
	主な取組					事業	資料館管理事業		
								_	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし○ あり	名称							
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	昭和	57 年度	事業開始年度不明				
事業期間	○ 期間限定あり(事業終了	· 7年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ				
実施手法	☑ 町が直接実施(直営)	✓ 委託	〔 全部委託	☑ 一部委託 〕	□ 補助金等				
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()							
実施形態	☑町単独 □国・県補助	☑町単独 □国・県補助事業 □国・県補助事業+町事業(上乗せ) □その他()							
事業概要		理・保存を行い後 は,劣化が進行す			料のデジタル化を進めて				

●実施 ~D0~

歴史に関する資料を、歴史民俗資料館内において整理及び保存を行いました。 また、歴史に精通した臨時職員1名により古文書のデジタル化作業を行いました。

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		1 報酬	973, 530	丑	1, 098, 720	丑	657, 832	円
		10 需用費	552, 081	円	650, 748	円	881, 721	円
支	内		76, 436	円	112, 912	円	88, 454	円
出	訳	12 委託料	709, 696	円	714, 340	円	1, 800, 700	円
		17 備品購入費		円	132, 000	円	133, 700	円
		その他	15, 479	円	178, 478	円	5, 524, 288	円
		事業費 計	2, 327, 222	円	2, 887, 198	円	9, 086, 695	円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		国支出金		円		円	251, 260	円
		県支出金		円		円		円
財	内	受益者負担金		円		円		円
源	訳	地方債		円		円		円
		その他		円		円		円
		一般財源	2, 327, 222	円	2, 887, 198	円	8, 945, 435	円
		事業費 計	2, 327, 222	円	2, 887, 198	円	9, 196, 695	円

	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		貢献している 見直す余地がある
妥当			歴史民俗資料館の展示物や資料について,整理保存に努めま した。
T性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。		妥当である
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。		余地がない● 見直す余地がある歴史等の資料については、保存管理及び後世に伝承することが目的で、資料の展示の充実を図ることはできると考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。		可能性がある ● 可能性がない 歴史等の資料については、保存管理及び後世に伝承することが目的であることから、廃止・休止はできません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない 類似事業はありません。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	余地がない
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理	適正である ● 見直す余地がある 受益者負担を求める事業ではない 県などでは、資料館の入場料を徴収している施設もあるが、 同様に徴収した場合、来館者の減少が考えられる。また町の歴 史をPRすることが難しくなることが考えられるため、十分な検 討が必要だと考えます。

	継続	(現状維持	() 縮小	② 改善	○ 拡大)()休止	○ 廃止(終了)	() 統廃合	○連携
	【理由】								
今		谷資料館におけ	ける歴史資	料の保存	整理を継続	し、古文書	についても引き	続きデジタル	v化の作業を進め
後の	ます。								
の方									
向									
性									

●基本情報

胃	事業名(取組名) 利根町地固め唄保存会補助金						評価番号	3-4-11-2		
担当課 生涯学習課 係 社会教育係						□ 予算なし				
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり					【01】一般会計		
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備					【0109】教育費			
基本	施策	【11】まちの文化遺産の保全					【010904】社会	教育費		
計画		②「利根町地固め唄保存	会」への3	支援	目	目	【01090404】文	化財保護費		
Ι	主な取組					事業	文化財保護保存	事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	○ なし ● あり	名称 利根町排	宣文化財等	補助金交付要網	尚
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	元 年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度)	単年度繰り	返し 〇 単年度のみ
実施手法	□ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	一一部委託	〕 ☑ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	i	他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補即	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ) □その	か他 ()
事業概要	県指定無形民俗文化財 保存を行うため、諸道具 を実施しています。			作業唄「利根町: 承,技能保持者(地固め唄」の適正な伝承と の指導による後継者の育成

●実施 ~D0~

「利根町地固め唄」の適正な伝承と保存を行うため,「利根町地固め唄保存会」に補助金を交付することに より技術の伝承や保存に資することができました。

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		18 負担金,補助及び交付金	363,000 円	63,000 円	63,000 円
			円	円	Ħ
支	内		円	円	円
出	訳		円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
		事業費 計	363,000 円	63,000 円	63,000 円
	主な歳入の科目		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	Ħ
財	内	受益者負担金	円	円	円
源	訳	地方債	円	円	円
		その他	円	円	Ħ
		一般財源	363,000 円	63,000 円	63,000 円
		事業費 計	363,000 円	63,000 円	63,000 円

		•	貢献している	見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	文化財の保護及び継承	承に貢献できていると考えます。
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	×) 見直す余地がある 承を行うためには補助金の交付は妥当で
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由		○ 見直す余地がある 承していくためには現状の内容で充分で
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	•	● 可能性がない 承していく必要があるため、補助金の廃 いと考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	可能性がある更可能性がある類似の事業を行ってし出来かねます。	生がない ○類似事業はない いないため、統廃合・連携を図ることは
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	3, 2, 3, 3	地がある 承していくために必要な費用となるため ません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。		受益者負担を求める事業ではな	けであることなどから受益者負担を求め

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携	
	【理由】	
今	「利根町地固め唄」の適正な伝承と保存を行うため事業を継続していく必要があります。	
後の		
の方		
向		
性		

●基本情報

事	事業名(取組名) 文化財保護保存事業						評価番号	3-4-11-3				
	担当課 生涯学習課【生涯学習セ 係 庶務係						□ 予算なし					
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり					【01】一般会計					
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備					【0109】教育費					
基本計	施策	【11】まちの文化遺産の保全					【010904】社会	教育費				
計画		③ふるさと利根町をテー	マとした原	歴史講座の開催	I	目	【01090404】文	化財保護費				
Ι	主な取組					事業	文化財保護保存	事業				

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし○ あり	名称							
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度		年度	✓ 事業開始年度不同	明			
事業期間	○ 期間限定あり(事業終了	7年度:令和	年度) ①)単年度繰り返し	○ 単年度のみ				
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等								
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()							
実施形態	☑町単独 □国·県補助	☑町単独 □国·県補助事業 □国·県補助事業+町事業(上乗せ) □その他()							
事業概要	利根町や周辺の歴史にるようにすることを目的		催し,古き良き和	利根町を再発見	見し,地域に愛着が	持て			

●実施 ~D0~

業績

令和3年度の開催予定は「利根川図志を原本で読んでみよう」「ふるさとを学ぶ」の両講座とも9回でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため両講座とも6回の開催となり、延べ186名の参加がありましま。 た。

	主な歳出の節		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	
支出		7 報償費	100,000 円	27,300 円	70,000 円	
	内訳		円	円	円	
			円	円	円	
			円	円	円	
			円	円	円	
			円	円	円	
		事業費計	100,000 円	27,300 円	70,000 円	
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	
		国支出金	円	円	円	
		県支出金	円	円	円	
財	内	受益者負担金	円	円	円	
源	訳	地方債	円	円	円	
		その他	円	円	円	
		一般財源	100,000 円	27,300 円	70,000 円	
		事業費 計	100,000 円	27,300 円	70,000 円	

妥 当 性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		貢献している 見直す余地がある
			歴史に関する講座の開講により、ふるさと利根町の歴史に関する事業を推進することができました。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	妥当である
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	② 泉直す余地がある 複数の講師により得意とする分野での講座開催を行っており、内容も毎年重複しないように調整を行っています。これ以上の余地はないと考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	可能性がある ● 可能性がない ● 可能性がない 利根町に関する歴史講座は、地域に対する愛着や魅力を再発見することにつながるため、これからも必要であると考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない類似事業はありません。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	余地がない
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。		適正である

継続	○ 現状維持	()縮小	() 改善	() 拡大)()休止	(終了) 廃止(終了)	() 統廃合	○連携
【理由】								
								いので、今後も継
続して町 <i>0</i>	D歴史を周知す	「るため、	利根町に	ゆかりの あ	る講座を開	講していきたい。	と考えます。	
	【理由】 講座の目	【理由】 講座の目的としては、	【理由】 講座の目的としては、地域に愛	【理由】 講座の目的としては、地域に愛着を持っ	【理由】 講座の目的としては、地域に愛着を持ってもらい、	【理由】 講座の目的としては、地域に愛着を持ってもらい、利根町の魅:	【理由】 講座の目的としては、地域に愛着を持ってもらい、利根町の魅力を再発見して:	

●基本情報

哥	事業名(取組名) 歴史ボランティアの養成事業						評価番号	3-4-11-4(1)
担当課 生涯学習課【生涯学習セ 係 庶務係		庶務係			✓ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			_	会計		
	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備			予算	款		
基本	施策	【11】まちの文化遺産の保全				項		
計画	主な取組	④歴史ボランティアの養	成		科目	目		
						事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	⊕ なし ○	あり名称					
新規・継続	○ 新規	継続事業開	始年度	年度	✓ 事業開始年度不明		
事業期間	○ 期間限定あり(○ 期間限定あり(事業終了年度:令和 年度) ● 単年度繰り返し ○ 単年度のみ					
実施手法	✓ 町が直接実施	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等					
(すべてチェック)	□ 町民協働	□ 指定管理	□ 事務局 □ そ	の他 ()		
実施形態	☑町単独 □	国・県補助事業		(上乗せ) 一その他	()		
事業概要	本町の歴史案内や学習の講師及び企画展の事業推進に伴い歴史ボランティアの養成を目的としています。						

●実施 ~D0~

	│ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、歴史講座は令和3年度も開催回数が予定より減になり、ボラン │ティアの養成はしていません。また企画展の開催も行いませんでした。									
事業	′	イブの長灰はしている	とん。なた正画版の所催り口	0.2 5.0 6 6.75						
業績										
		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)					
支	内									
出	訳									
		事業費 計								
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)					
		国支出金								
		県支出金								
財	内	受益者負担金								
源	訳	地方債								
		その他								
		一般財源								
		事業費 計								

		○ 頁	貢献している	○ 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理 由	生涯学習ボランティ - 。	アによるまちづくり事業を推進していま
T性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。		~= (0)0	○ 見直す余地がある 歴史講座や,歴史に関する事業と連携して áだと考えます。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。			● 見直す余地がある 日 増やすことや、資料館の企画展など開催 引心を持つ方が多くなると考えます。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。			● 可能性がない ・感じてもらい、生涯学習ボランティアに ・推進しているため必要です。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。			と性がない ○類似事業はない をの他の事業と一緒に行えるか検討が必要
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	余地がない ○ : 事業費は計上してい	余地があるいません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。		受益者負担を求める事業で	見直す余地がある はない ななので受益者負担を求める事業ではあり

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	今後も、歴史民俗資料館においては、企画展の開催を定期的に実施したり、歴史講座の参加者が新たに歴史
	ボランティアとして活動してもらえるように、講座の運営を工夫するなど町民の興味関心を高めるようにしていきます。
の方	
向	
性	

●基本情報

酮	事業名(取組名)) 町民運動会事業					評価番号	3-4-12-1 (1)	
担当課 生涯学習課 係 社会体育係					□ 予算なし				
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			予	会計	【01】一般会計		
4	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備				款	【0109】教育費		
基本計画	施策	【12】生涯スポーツの推進				項	【010905】保健	体育費	
		①生涯スポーツ事業の推	進		目	目	【01090501】保	健体育総務費	
	主な取組					事業	町民運動会事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	☑ 事業開始年度不明	
事業期間	○ 期間限定あり (事業終 ⁻	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返し	, 〇 単年度のみ	
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等				
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理 事務局	i)	
実施形態	☑町単独 □国·県補	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ) 【その代	<u>t</u> ()	
事業概要	町民を対象に、子ども 多種多様な種目演技を行		広い年齢層で誰もが気軽に参	加できる運動会として,	

●実施 ~D0~

利根町総スポーツ祭として、町民の健康増進及び交流機会を提供する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為、開催中止となりました。

	主な歳出の節		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)			
		7 報償費	538, 634 円	H	円			
		10 需用費	134, 922 円	Ħ	円			
支	内		円	円	円			
出	訳		円	円	円			
			円	円	円			
			Ħ	円	円			
		事業費 計	673, 556 円	0 円	0 円			
	主な歳入の科目		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)			
		国支出金	Ħ	H	円			
		県支出金	Ħ	円	円			
財	内	受益者負担金	Ħ	円	円			
源	訳	地方債	Ħ	円	円			
		その他	円	円	円			
		一般財源	673, 556 円	H	円			
		事業費 計	673, 556 円	0 円	0 円			

		•	貢献している 見直す余地がある
	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達	理	子どもから高齢者まで幅広い年齢層で誰もが気軽に参加できることから、事業目的が上位政策の達成に貢献しています。
妥当	事業日的が工位政策 (主な収組) の達 成に貢献していますか。		
性	②町関与の妥当性	0	妥当である ○ 見直す余地がある
	© 町 () 野子の安国性	理	町の総スポーツとして、老若男女の方が参加できるため、町 が事業主体として事業を行うことは妥当です。
	妥当ですか。	由	
	③成果の向上余地	0	余地がない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	S 1	理	利根町が少子高齢化となっている状況に合わせて, 競技やタ イムスケジュールの見直しをする可能性があります。
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。		
			可能性がある 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性	理	利根町の継続イベントとして毎年開催予定ですので、廃止・ 休止の可能性はありません。
性	事業の内容や成果から廃止・休止できますか。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 版似事業との統廃合・連携を図ること		○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
		理	類似事業はありません。
	により成果が期待できますか。		
	○古米井の4017A.II.	0	余地がない 余地がある
効 率	⑥事業費の削減余地	тш	事業に対して適切な予算をとっているため、成果を下げずに コストを削減することはできません。
性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	
		0	適正である 見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業ではない
平性	事業内容から受益者の負担割合は適正	理	受益者負担を求める事業ではありません。
	ですか。		

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	少子高齢化や人口減少により規模の縮小や新型コロナウイルス感染対策を考慮し、町民のニーズに合わせた
	町民運動会の大会内容を見直し等を行い、生涯を通じて、健康やレクリエーションを目的として、だれもが、 いつでも、どこでも気軽に参加できる総スポーツ祭として、地域のスポーツ環境づくりとして多くの町民が一
方	同に会し、参加できる町民運動会として今後検討していきます
向 性	
ΙΞ	

●基本情報

事業名(取組名) スポーツ推進委員の資質の向上							評価番号	3-4-12-1 (2)	
担当課 生涯学習課 係 社会体育係						□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				会計	- 【01】一般会計		
基本計画	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備					【0109】教育費		
	施策	【12】生涯スポーツの推進					【010905】保健	体育費	
	主な取組	①生涯スポーツ事業の推	進		目	目	【01090501】保	健体育総務費	
						事業	スポーツ推進委	員事業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	○ なし ● あり 名称 スポーツ基本法						
新規・継続	○ 新規 ● 継続 事業開始年度 年度 ☑ 事業開始年度不明						
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了年度:令和 年度) ● 単年度繰り返し ○ 単年度のみ						
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助金等						
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()						
実施形態	☑町単独 □国·県補助事業 □国·県補助事業+町事業(上乗せ) □その他()						
事業概要	スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行っています。 我要						

●実施 ~D0~

地域のスポーツの発展に寄与するため,多種多様なスポーツの指導者を委嘱することにより,推進体制の強 化及び充実が図られた。

	主な歳出の節		令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		1 報酬	192, 000	田	187, 200 円	192,000 円
		10 需用費	14, 610	円	14,860 円	14,860 円
支	内	18 負担金,補助及び交付金	16, 400	円	21,400 円	21,300 円
出	訳			円	H	円
				円	円	円
				円	円	円
		事業費計	223, 010	円	223, 460 円	228, 160 円
	主な歳入の科目		令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金		円	円	円
		県支出金		円	円	円
財	内	受益者負担金		円円	円 円	H H
財源	内訳	受益者負担金				
	内訳	受益者負担金		円	円	А
	内訳	受益者負担金 地方債	223, 010	円 円	P P	円 円

			貢献している 見直す余地がある
	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	主に町スポーツ行事や事業に助言・スタッフとして協力し、各種スポーツ団体への指導などにより、町スポーツ事業の推進体制が発展できました。
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	受当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。)余地がない
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	可能性がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	○可能性がある○可能性がない●類似事業はありません。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	○ 余地がない ○ 余地がある 現時点で、必要な事業費で事業の有効性が達成できていると 考えます。
本中公	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	_	○ 見直す余地がある ○ 受益者負担を求める事業ではない 住民の生涯スポーツ活動の促進のための組織や住民一般に対してスポーツについての理解を深め、各スポーツ団体等に対する指導及び助言を行っているために受益者負担を求めておりません。

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今後の方向性	現時点で、必要な事業費で事業の有効性が達成できており、また、町のスポーツ事業推進に寄与しているため、今後も現状を維持したまま事業を推進してまいります。

●基本情報

事業名(取組名) 子どもスポーツ教室事業							評価番号	3-4-12-1(3)
担当課 生涯学習課 係 社会体育係					□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続ける	まちづくり	予	会計	【01】一般会計	
4	基本施策	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備					【0109】教育費	
基本	施策	【12】生涯スポーツの	【12】生涯スポーツの推進					体育費
計画		①生涯スポーツ事業の推	進		目	目	【01090501】保	健体育総務費
1	主な取組					事業	子どもスポーツ	教室事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	● 新規 ○ 継続	事業開始年度	令和	3 年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり(事業終う	了年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	☑ 町民協働 □ 指	定管理	3 一 その他	()
実施形態	✓町単独 □国・県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上身	乗せ) □その他	()
事業概要	日本ウエルネススポーツ の基礎を培う機会の場を		ポーツ教室を行	うい,大学との3	を流,児童の健康や体力

●実施 ~D0~

利根町の児童4年生から6年生を対象に日本ウエルネススポーツ大学と連携して野球教室を開催することができました。また、大学生との交流、子どもたちの健康や体力の基礎を培うことができました

	主な歳出の節		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	P	Ħ	40,000 円
		10 需用費	円	円	76, 556 円
支	内	11 役務費	円	円	5, 200 円
出	訳		円	円	円
			円	円	円
			P	Ħ	円
		事業費 計	0 円	0 円	121,756 円
	主な歳入の科目		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
財	内	受益者負担金	P	Ħ	円
源	訳	地方債	P	Ħ	円
		その他	円	円	円
		一般財源	円	円	121,756 円

		_		
				見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由		から6年生を対象に気軽に参加できるこ 位政策の達成に貢献しています。
性		0		見直す余地がある
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由		ーツ大学と連携して利根町の児童を対象 、町が事業主体として事業を行うことが
		0	余地がない	● 見直す余地がある
	③成果の向上余地			ため、競技数を検討することで参加人数 の向上につながると思います。
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	が相加することで成木	の国工につなが、のと心で、よう。
			可能性がある	● 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性			ーツ大学と協力して行うため大学との連 につながるため、廃止や休止の可能性はあ
性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。		りません。	TO SHOW O'COS, NEW YEAR OF THE LOCK
			O 1	性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	類似事業はありませ	<i>ل</i> ى.
				全地がある
効率	⑥事業費の削減余地		現時点で、必要な事 考えます。	業費で事業の有効性が達成できていると
率 性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由		
		0	適正である 0 !	見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業では	
平性	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。			業を通じて生涯スポーツの楽しさ、ま 目的としているため受益者負担を求めて

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	現時点で、スポーツ教室の種類が野球しかない為、小学生の参加が限られています。スポーツ教室の競技の
後の	種類を検討することで、より多くの参加者が望めると考えられます。
方	
向	
性	

●基本情報

事業名(取組名) レクリエーション事業							評価番号	3-4-12-1(4)
担当課 生涯学習課 係 社会体育係					□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続けるる	まちづくり	予	会計	【01】一般会計	
	基本施策	策 【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備				款	【0109】教育費	
基本	施策	【12】生涯スポーツの	【12】生涯スポーツの推進					体育費
計画		①生涯スポーツ事業の推	進		目	目	【01090501】保	健体育総務費
	主な取組					事業	レクリエーショ	ン事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称				
新規・継続	● 新規 ○ 継続	事業開始年度	令和 3	年度	□ 事業開始年度不明	
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	年度:令和	年度) ①	単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	全部委託]一部委託	□ 補助金等	
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定	官管理	□ その他	()	
実施形態	☑町単独 □国·県補助	事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗t	せ) □その他	()	
事業概要	利根町在学の小学生を対象によるスポーツレクリエーションを行います。					

●実施 ~D0~

子ども達を対象に、利根町の水田を利用して自然体験を行うことで、楽しみながら基礎体力の向上及び異学年同士の交流やふれあいの場を提供することができました。

	主な歳出の節		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	PI	円	47, 124 円
		10 需用費	H	H	12040 円
支	内	11 役務費	円	円	5400 円
出	訳	12 委託料	P	Ħ	17999 円
		13 使用料及び賃借料	H	H	97019 円
			H	H	Ħ
		事業費計	0 円	0 円	179, 582 円
	主な歳入の科目		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	H	H	Ħ
		県支出金	PI	円	Ħ
財	内	受益者負担金	H	H	Ħ
源	訳	地方債	PI	円	Ħ
		その他	円	円	Ħ
		一般財源	PI	円	179, 582 円
	事業費計		0 円	0 円	179, 582 円

- H. II		
	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達 成に貢献していますか。	● 貢献している
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	● 妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	○ 余地がない ● 見直す余地がある 利根町の児童が減少している状況や参加人数に合わせて、競技やタイムスケジュールの見直しをする可能性があります。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	● 可能性がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない 類似事業はありません。 理由
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	○ 適正である○ 見直す余地がある● 受益者負担を求める事業ではない受益者負担を求める事業ではありません。理由

	継続	(現状維持	(縮小	② 改善	○ 拡大)(休止	○ 廃止(終了)	() 統廃合	○連携
	【理由】								
今			域少してい	るため,	対象者がさ	らに参加して	やすいような内容	字や楽しめる	競技に改善する
	必要があ	ります。							
の方									
向									
性									

●基本情報

事	事業名(取組名)	利根町駅伝大会実行委員会補助金					評価番号	3-4-12-2(1)
担当課 生涯学習課 係 社会体育係							□ 予算なし	
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				会計	【01】一般会計	
基	基本施策 【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備		/環境の整備	予算	款	【0109】教育費		
本計	施策	【12】生涯スポーツの	推進		科目			体育費
画	主な取組	②スポーツ技術・競技力	②スポーツ技術・競技力の向上		Ι	田	【01090501】保	健体育総務費
	土な収祉					事業	利根町駅伝大会	実行委員会補助金

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	なし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度		年度	☑ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり(事業終う	了年度:令和	年度) ①	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	□ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託 □] 一部委託]	✓ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	□ その他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助]事業+町事業(上乗せ	†) □その他	()
事業概要	駅伝大会主催の駅伝大	会実行委員会へ補	助金を交付します	•	

●実施 ~D0~

業績

補助金を交付することによって地域住民が、駅伝大会を通じて、心身の健康と体力保持増進、近隣市町村との交流ができ、生涯スポーツの振興に寄与する予定でした。新型コロナウイルス感染拡大の為、開催中止となりました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		18 負担金,補助及び交付金	600,000 円	円	円
			Ħ	円	円
支	内		Ħ	円	円
出	訳		Ħ	円	円
			Ħ	円	円
			Ħ	円	円
	事業費 計 600,000 円			- E	Λ П
		争耒貸 計	600,000 円	0 円	0 円
		事業質 計 主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
財	内	主な歳入の科目 国支出金	令和元年度(実績) 円	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
財源	内訳	主な歳入の科目 国支出金 県支出金	令和元年度(実績) 円 円	令和2年度(実績) 円 円	令和3年度(実績) 円 円
		主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金	令和元年度(実績) 円 円	令和 2 年度(実績) 円 円	令和3年度(実績) 円 円
		主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	令和元年度(実績) 円 円 円 円 円	令和 2 年度(実績) 円 円 円	令和3年度(実績) 円 円 円

		● 貢献している ○ 見直す余地がある	
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	地域住民の心身の健康と体力保持増進,近隣市町村との交流 理 ができるため、事業目的が上位政策の達成に貢献しています。 由	;
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	● 妥当である	
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	○ 余地がない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	可能性がある 可能性がない 上記の成果の向上余地ができない場合、スタッフ、参加者からクレームや中止の意見が多く挙がった場合は廃止・休止の可能性はあります。	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	○可能性がある○可能性がない●類似事業はない類似事業はありません。理由	
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	● 余地がない	ì
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	● 見直す余地がある ● 見直す余地がある ● 受益者負担を求める事業ではない スポンサーからの補助が削減した場合などは、受益者負担の値上げを検討する。	

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○ 連携
	【理由】
今後の方向性	駅伝大会当日の駐車場の場所や、雨天時の対応、冬に行うためスタッフ、参加者の健康管理等の改善をする必要があります。

●基本情報

事	葉名(取組名)	豊島杯体育大会補助	金		評価番号	3-4-12-2		
担当課 生涯学習課 係 社会体育係					□ 予算なし			
	基本方針	基本方針 【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり					【01】一般会計	
基	基本施策	【4】参加しやすい文化	【4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備					
本計	施策	【12】生涯スポーツ <i>の</i>		科目	項	【010905】保健	体育費	
画	主な取組	②スポーツ技術・競技力	の向上			目	【01090501】保	健体育総務費
	上る奴組					事業	豊島杯体育大会	補助金

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		り名称				
新規・継続	○ 新規 ● 絹	^{装続} 事業開	始年度	年度	✓ 事業開始年度不明	
事業期間	○ 期間限定あり(事業終了年度: 令	和 年度)	● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	□ 町が直接実施(ⅰ	□ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 全部委託 □ 一部委託 □				
(すべてチェック)	□ 町民協働	□ 指定管理	✓ 事務局 □ る	その他 ()	
実施形態	☑町単独 □[国・県補助事業]国·県補助事業+町事	業(上乗せ) □その他	ı ()	
事業概要	利根中学校及び開催します。	近隣中学校を対	象としたバレーボー	-ル及びバスケットオ	ドール競技による大会を	

利根中学校生徒と近隣市町村の中学校生徒の交流や親睦が図られ、また大会を通してバレーボール、バスケットボール等の振興と技術の向上を図る予定でした。新型コロナウイルス感染拡大の為、豊島杯体育大会は開催中止となりました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		18 負担金,補助及び交付金	28,500 円	0 円	0 円
			PI	円	円
支	内		PI	円	円
出	訳		PI	H	円
			円	円	円
			PI	円	円
	事業費 計		28,500 円	0 円	0 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	P	円	円
		県支出金	P	円	円
財	内	受益者負担金	PI	円	円
源	訳	地方債	PI	円	円
		その他	円	H	円
		一般財源	28,500 円	円	円
		事業費 計	28,500 円	0 円	0 円

		
		● 貢献している ○ 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	利根中学校生徒と近隣市町村の中学校生徒の交流や親睦が図れるため、事業目的が上位政策の達成に貢献しています。 由
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが	● 妥当である 見直す余地がある 利根中学校生徒が近隣市町村の中学校生徒との交流を図るため、町が事業主体として事業を行うことは妥当です。
	妥当ですか。	曲
	③成果の向上余地	● 余地がない ● 見直す余地がある 中学生同士の交流やバレーボール、バスケットボールの振
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由 由
		○ 可能性がある ● 可能性がない
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	事業の内容や成果から、廃止・休止はできないと考えます。 理 由
		○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	類似事業はありません。 理由由
		● 余地がない ○ 余地がある
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	現状の補助金で十分な成果があるため、成果を下げずコストを削減することは難しいと考えます。 由
		○ 適正である ○ 見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	● 受益者負担を求める事業ではない
平性	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	利根中学校と近隣中学校の交流を図る大会の為, 受益者負担を 求める事業ではありません。 由

	継続	() 現状維持	() 縮小	() 改善	○ 拡大)(休止	(終了) 廃止(終了)	() 統廃合	●連携
	【理由】								
今									。また,バレー
		バスケットボ-	ールの技術	の向上や	振興ができ	,現状の補助	助金で十分な成り	具があるため	継続していきま
の 方	す。								
向									
性									

●基本情報

事	事業名(取組名)	学校体育施設開放事業					評価番号	3-4-12-4	
担当課 生涯学習課 係 社会体育係							□ 予算なし		
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				会計	【01】一般会計		
基				予算	款	【0109】教育費			
本計	施策	【12】生涯スポーツの	推進		科目	項	【010905】保健·	体育費	
画	(事務会、スポーツ少年団の育成と支援) 主な取組		え と支援	_	田	【01090501】保	健体育総務費		
	土な収祉					事業	学校体育施設開	放事業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	おし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継	売 事業開	始年度	年度	✓ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事	業終了年度:令	和 年度)	● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	□ 町が直接実施(直	営)	□ 委託 □ 全部委託	千 🗌 一部委託]	✓ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働	□ 指定管理	事務局	の他 ()
実施形態	✓町単独 □国	•県補助事業 []国·県補助事業+町事業	(上乗せ))
事業概要	学校体育施設を学ます。	や校教育に支障(かない範囲において:	地域住民のスポーツ	/活動の場として開放し

●実施 ~D0~

スポーツ活動に親しむことができるよう地域住民のスポーツ活動の場として,学校体育施設を開放しました。また,地域住民にスポーツを通じて生涯学習の振興と普及ができました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		10 需用費	86,400 円	194, 939 円	58,630 円
		12 委託料	220,000 円	220,000 円	220,000 円
支	内	17 備品購入費	Ħ	59,400 円	円
出	訳		Ħ	H	円
			H	円	円
			Ħ	円	円
		事業費 計	306, 400 円	474, 339 円	278, 630 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	Ħ	100,000 円	円
		県支出金	Ħ	H	円
財	内	受益者負担金	Ħ	H	円
源	訳	地方債	H	円	円
		その他	Ħ	円	円
		一般財源	302, 400 円	374, 339 円	278, 630 円

		0	· · · ·	見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由		活動の場として小・中学校の体育施設を 目的が上位政策の達成に貢献していま
性	② 欧田 E ② 亞 A M	0	2100)見直す余地がある
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由		は有施設を地域住民に開放する事業であたようであまままであまままです。 よい はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はま
		•	余地がない) 見直す余地がある
	③成果の向上余地			ペーツ等を行える貴重な場所であり、現 この効果はあるため、成果を向上する余
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	地はありません。	この効果はめるため、成果を同工する宗
	a	0	可能性がある(● 可能性がない
有 効	④廃止・休止の可能性		利用団体や利用者が著 可能性はありません。	皆しく減っていないため、廃止・休止の
姓	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	可能性はめりよせん。	
		1	○可能性がある ○可能性	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	類似事業はありません	v _o
		•	余地がない 余地	
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	地域住民にスムーズなや管理委託料があるため はありません。	は利用してもらうために、必要な消耗品 り、成果を下げずコストを削減する余地
		0	適正である 見	直す余地がある
<i>(</i>):	⑦受益者負担の適正化	•	受益者負担を求める事業ではな	
公 平 性	事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由		が無い日時等に無償で開放している事業 対める事業ではありません。

	継続 (● 現状維持 ● 縮小 ● 改善 ● 拡大) ● 休止 ● 廃止(終了) ● 統廃合 ●連携	
	【理由】	
今後の方向性	毎年、学校体育施設を利用する地域住民や団体があります。また、無料でスポーツ活動を行える場所を利用 きることから継続していきます。	月で

●基本情報

胃	業名(取組名)	総合型地域スポーツ	クラブへ	評価番号	3-4-12-5 (1)			
担当課 生涯学習課 係 社会体育係					☑ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続ける。	きちづくり	_	会計		
基	基本施策	【4】参加しやすい文化	こ・スポーツ	ソ環境の整備	予算	款		
本計	施策	【12】生涯スポーツ <i>の</i>	ーツの推進			項		
画				目	目			
	工な収価					事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし	○ あり	名称					
新規・継続	○ 新規	● 継続	事業開	始年度		年度	✓ 事業開始年月	度不明
事業期間	○ 期間限況	きあり (事業終了	7年度:令和	1	年度)	● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接	接実施(直営)		委託	〔 全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等	
(すべてチェック)	□ 町民協信	動	定管理	事務局	i	也 ()
実施形態	少 町単独	□国・県補助	助事業 [国・県補助	事業+町事業(」	□その他	()
事業概要		域スポーツク 民の健康・体				域住民のスポーツ	≀活動を展開する	る場の提

●実施 ~D0~

			地域スポーツクラブの紹介を	行い,地域住民の健康・体力の	の保持増進や世代間の交流
	ŧ	促進されました。			
事業					
業績					
		主な歳出の節	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)
+					
支	内				
出	訳				
		事業費 計			
		主な歳入の科目	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)
		国支出金			
		県支出金			
財	内	受益者負担金			
源	訳	地方債			
		その他			
		一般財源			
		事業費計			

- H. I.	-		
		•	貢献している 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	毎月、町広報で事業の紹介をしており、事業目的が上位政策 の達成に貢献しています。
性	© 15-11 - C - C - V - M - C - C - V - M - C - C - V - M - C - C - C - C - C - C - C - C - C	0	妥当である 見直す余地がある
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	町の総合型地域スポーツクラブを紹介するため、町が事業主体として事業を行うことは妥当です。
		•	余地がない 見直す余地がある
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	現状でも広報で事業の紹介ができているため, 成果を向上する余地はありません。
	② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	С	可能性がある ● 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性	理	事業の内容や成果から、廃止・休止はできないと考えます。
性	事業の内容や成果から廃止・休止できますか。		
			○可能性がある○可能性がない●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		類似事業はありません。
		•	余地がない 余地がある
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	現状の状況でも成果があるため、成果を下げずコストを削減することは難しいと考えます。
		0	適正である 見直す余地がある
公 平 性	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業ではない
	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。		町民に総合型地域スポーツクラブを紹介するための事業であるため、受益者負担を求める事業ではないと考えます。

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携	
	【理由】	
今後の方句	多世代の身近な地域でスポーツに親しむことできる新しいタイプのスポーツクラブであるため今後も継続していきます。	•
性		

●基本情報

事	事業名(取組名)	体育協会、スポーツ少年団の育成と支援					評価番号	3-4-12-5 (2)	
担当課 生涯学習課 係 社会体育係					□ 予算なし				
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続けるま	まちづくり		会計	【01】一般会計		
基	基本施策	【4】参加しやすい文化	こ・スポーツ	ソ環境の整備	予算	款	【0109】教育費		
本計	施策	【12】生涯スポーツの	【12】生涯スポーツの推進			項	【010905】保健	体育費	
画	主な取組	⑤体育協会、スポーツ少	体育協会、スポーツ少年団の育成と支援			目	【01090501】保	健体育総務費	
	上で収値					事業	利根町体育協会	補助金	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度		年度	✓ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり(事業終う	了年度:令和	年度) 〇 🖺	単年度繰り返し	● 単年度のみ
実施手法	□ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔□ 全部委託 ☑ -	一部委託	✓ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理 🗸 事務局	□ その他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	□その他	()
事業概要	種目別競技団体が, 自 会等に参加及び町内大会				, 県主催の研修会や大 す。

●実施 ~D0~

スポーツを通じて、青少年の健全な心の育成とスポーツの振興を図り、住民相互の親睦を通じて、明るい街づくり、スポーツ人口の増加に寄与しています。 また、国の方針により、体育協会は「スポーツ協会」と名前が変更になりました。

	主な歳出の節		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		18 負担金,補助及び交付金	616,000 円	616,000 円	616,000 円
			円	円	円
支	内		円	円	円
出	訳		円	円	円
			円	H	円
			円	円	円
		事業費 計	616,000 円	616,000 円	616,000 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	円	円	円
		県支出金	円	H	円
財	内	受益者負担金	円	円	円
源	訳	地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	616,000 円	616,000 円	616,000 円
		事業費計	616,000 円	616,000 円	616,000 円

		•	貢献している	○ 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由		協会に所属している団体及びスポーツ少 を通じ、各種スポーツ競技のレベルアップ 来ました。
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	妥当である 利根町のスポーツ[えます。	○ 見直す余地がある 団体対象の補助金のため,妥当であると考
	③成果の向上余地	0	余地がない	○ 見直す余地がある 適切な補助金を交付でき、政策目的が達成
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	加盟団体に対して、できていると考えます。	
		0	可能性がある	○ 可能性がない
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由		を通じスポーツ人口の増加及び各種団体の るため、廃止等はできません。
		(O 1	能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由	類似事業はありまも	±ん。
		•	.,	余地がある
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由		協会及びスポーツ少年団の登録団体や人数 あるため、大幅に減少した場合には、コス と考えます。
		0	適正である	見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業で	
平性	事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。		会づくりに寄与するこ	振興と町民の健康増進及び体力の向上, 地域社 とを目的としており, また, 各団体が, 各種ス を行うに辺り, 個人負担していることから, 適

	継続 (● 現状維持 ● 縮小 ● 改善 位 拡大) ● 休止 ● 廃止(終了) ● 統廃合 ●連携
今後の方向	【理由】 現状で適切な補助金の交付がなされており、スポーツ競技会の開催やスポーツ教室活動、競技の資質向上等を担っている為、現状維持であると考えます。
性	

●基本情報

昌	事業名(取組名) 社会教育事務費						評価番号	5-1-1-2	
	担当課	担当課 生涯学習課 係 社会教育係				□ 予算なし			
	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり			_	会計	【01】一般会計		
	基本施策				予算	款	【0109】教育費		
基本	施策	【1】地域活動の活性化			科目	項	【010904】社会	教育費	
計画		②積極的なコミュニティ	②積極的なコミュニティ参加の促進			目	【01090401】社	会教育総務費	
	主な取組			事業	社会教育事務費				

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	23 年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終	了年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	i	ė ()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 ②国・県補助	事業+町事業(上	乗せ) □その他	ı ()
事業概要	住民が、生涯学習団体 目的に、町民活動サイト				できるよう情報の提供を

●実施 ~D0~

住民が、町民情報サイト「とねっと」にアクセスし、町内の各団体やサークルなどの活動に関心を持ち情報提供ができ支援ができたと考えます。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		13 使用料及び賃借料	169, 180 円	169, 180 円	169, 180 円
			H	H	Ħ
支	内		Ħ	H	円
出	訳		Ħ	Ħ	円
			Ħ	Ħ	円
			Ħ	Ħ	円
		事業費 計	169, 180 円	169, 180 円	169,180 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	Ħ	円	Ħ
		県支出金	Ħ	H	円
財	内	受益者負担金	Ħ	Ħ	円
源	訳	地方債	Ħ	H	Ħ
		その他	Ħ	H	円
		一般財源	Ħ	H	Ħ
事業費計		事業費計	169, 180 円	169, 180 円	169,180 円

			す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達 成に貢献していますか。		
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。		す余地がある 紹介サイトのページ作成の為妥当
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。		『す余地がある 成状況から工夫の余地が無いと考
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。		能性がない 紹介サイトのページのため廃止す 。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	可能性がある ○可能性がない 町民活動を紹介するサイト のと考えます。	●類似事業はない は他にない為、統廃合はできない
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	地がない	。 成状況から,削減の余地がありま
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	正である	益者負担を求める事業ではないと

	継続 (● 現状維持 ● 縮小 ● 改善 ● 拡大) ● 休止 ● 廃止	上(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】	
今		
後の		いきます。
方		
向		
性		

●基本情報

事	葉名(取組名)	コミュニティセンター管理事業					評価番号	5-1-2-1	
	担当課	生涯学習課 係 社会教育係				□ 予算なし			
	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり				会計	[01] 一般会計		
4	基本施策	【1】町民参加体制の充実				款	【0109】教育費		
基本	施策				科目	項	【010904】社会	教育費	
計画		①既存施設の有効的な活	D既存施設の有効的な活用			目	[01090409] ¬	ミュニティセンター費	
_	主な取組					事業	コミュニティセ	ンター管理事業	

●計画 ~PLAN~

●実施 ~D0~

業績

布川地区コミュニティセンター維持管理をシルバー人材センターへ委託し、生涯学習を通じた地域住民のコミュニティの活性化が図れるよう効率的な運営を行い、施設の設備等の保守・修繕等の維持管理を行うことができました。

	主な歳出の節		令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
	10 需用費		931, 634	円	532, 268 円	352,773 円
		12 委託料	6, 346, 160 F	円	7, 540, 940 円	6, 818, 900 円
支	内	14 工事請負費	5, 021, 600 F	円	254, 100 円	16, 321, 800 円
出	訳	17 備品購入費	F	円	367, 400 円	H
			F	円	円	H
			F	円	円	円
		事業費 計	12, 299, 394	円	8, 694, 708 円	23, 493, 473 円
	主な歳入の科目		令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	F	円	円	H
		県支出金	F	円	円	H
財	内	受益者負担金	F	円	円	H
源	訳	地方債	F	円	円	円
		その他	F	円	円	円
		一般財源	12, 299, 394	円	8, 694, 708 円	23, 493, 473 円
事業費計		事業費 計	12, 299, 394	円	8, 694, 708 円	23, 493, 473 円

				O = 1 1 1 1 1 1 1	
		•		○ 見直す余地;	
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由		まとなるよう,	ミュニティ活動の場として, 施設の整備及び効率的な運
性	②町間与の変坐歴		妥当である	○ 見直す余地	
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	また、地域交流の拠点	まとなるよう,	ミュニティ活動の場として, 民間事業者による維持管理 な運営に努めており妥当であ
		•	余地がない	○ 見直す余地	Pがある
	③成果の向上余地				用し、施設の整備及び効率的
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	な連宮に努めており,	現状の内容	で充分であると考えます。
1月	@ 	•	可能性がある	○ 可能性が	ない
	④廃止・休止の可能性		事業の内容や成果だ と考えます。	いらも,事業(の廃止・休止は妥当ではない
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	(2 方んより。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		○可能性がある ○可能	能性がない	●類似事業はない
			類似の事業を行って出来かねます。	こいないため,	統廃合・連携を図ることは
		0	余地がない ●	余地がある	
効	⑥事業費の削減余地				見直すことにより、成果を下
率 性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	T9 こコストを削減9 	ってことは不り	可能ではないと考えます。
		•		見直す余地があ	<u> </u>
公平性	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業で		
	事業内容から受益者の負担割合は適正	理	│ 利用団体等へ利用∜ │正であると考えます。		受益者負担を求めており、適
	事業内容から受益者の負担割合は適止 ですか。 				

	継続 (●) 現状維持 ○) 縮小 ○) 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○) 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	生涯学習を通じた地域コミュニティの活性化を図り、地域交流の拠点となるよう、民間事業者による維持管
	理を積極的に活用し,施設の整備及び効率的な運営に努めており,今後も事業を継続していく必要がありま す。
方	7 0
向	
性	

●基本情報

事	事業名(取組名) 人権尊重の充実						評価番号	5-2-5-1 • 2
担当課		生涯学習課 係 社会教育係						
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり				会計		
	基本施策	【2】誰もが尊重される環境の整備				款		
	施策	【5】人権尊重の充実				項		
	主な取組	①人権教育の推進	推進			目		
		②人権啓発の推進				事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	なし ○ あり	名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度		年度	☑ 事業開始年度	不明		
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了年度:令和 年度) ● 単年度繰り返し ○ 単年度の							
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等							
(すべてチェック) □ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 (
実施形態	実施形態							
福祉課で行っている町人権教育講演会及び茨城県が主催する人権問題講演会等に 積極的に職員等を派遣し、知識の向上に努めています。 また、人権問題に関するポースター等の掲示物による町民への周知を行っています。 事業概要								

●実施 ~D0~

事業費 計

町人権教育講演会に参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の為講演会が中止と なりましたので、職員等の派遣が出来ませんでしたが、今後も研修会等の参加を積極的に行っていきます。 また、国・県から配布された人権問題に関するポスター及びチラシ等を正しく理解していただけるよう公共 事業 業績機関等へ掲示を行いましました。 主な歳出の節 令和元年度 (実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 支 訳 出 事業費 計 主な歳入の科目 令和元年度 (実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 国支出金 県支出金 財 受益者負担金 地方債 源 その他 一般財源

		● 貢献している ○ 見直す余地がある
	①政策目的との整合性	人権問題のポスター等を公共施設に掲示し、啓発することに より、町民への関心が高まり、一人でも多くの方に人権問題を
孕	事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理 周知することが出来ます。 由
妥当性		● 妥当である● 見直す余地がある
	②町関与の妥当性	町が、人権問題を身近な問題と常に捉え、町民にPR活動を行
	町が事業主体として事業を行うことが	理 い周知していく必要性があると考えます。 由
	妥当ですか。	
		● 余地がない ○ 見直す余地がある
	③成果の向上余地	国・県等から配布されたポスター・チラシ・リーフレット等の掲示を、引き続き継続して行うことが適切と考えられます。
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由
有	④廃止・休止の可能性	○ 可能性がある● 可能性がない町民一人一人に人権問題の啓発を行うため、廃止等は可能性
効	事業の内容や成果から廃止・休止でき	がありません。
性	ますか。	曲
		○可能性がある○可能性がない●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること	類似事業はありません。
	により成果が期待できますか。	理
	⑥事業費の削減余地	● 余地がない ○ 余地がある ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
効 率 性	成果を下げずにコスト削減できます	周知用ポスターの掲示の為、削減の余地がありません。 理
	が、	曲
		○ 適正である ○ 見直す余地がある
公平性	⑦受益者負担の適正化	● 受益者負担を求める事業ではない
		事業の趣旨から受益者負担を求める事業ではありません。
	事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理

	継続	(② 現状維持	(縮小	○ 改善	○ 拡大)(休止	○ 廃止 (終了)	() 統廃合	○連携
	【理由】								
今 "							てまいります。	また、職員	等が積極的に参
後の	加し, 止	しい理解と知識	載を深めら	れるよう	基礎知調	の向上に努め	めていきます。		
方									
向 性									
1±									